

当日審査シート(平成28年度版) : GSC

審査員:

| | |
|----------|--|
| 発表 番号 | |
|----------|--|

| 審査のカテゴリー | | 観点 | 評価 | 【メモ】 * 審査時のメモ(発表者にはフィードバックされません) |
|--|------------|--|----|---|
| 目的・意義 | 目的・仮説 | ・研究テーマの目的・仮説が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。 ・挑戦的な研究テーマ設定ができています。 | 5 | |
| | 研究の背景・意義 | ・研究テーマに関する先行研究や関連分野についてよく調べ、研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけを理解できている。 | | |
| 方法・態度 | 方法 | ・仮説に合った適切な実験・観察や調査が計画されており、かつ自分なりの創意工夫が見られる。 ・(チーム研究の場合)チームメンバーの強み・個性が活かされ、シナジーが発揮できている。 | 5 | |
| | 態度 | ・課題や困難な点に粘り強く、柔軟かつ自立的に研究を進めている。 | | |
| 考察・成果 | 考察 | ・得られたデータや結果に基づき、論理的で多角的、かつ独創的な考察ができています。 | 5 | |
| | 成果 | ・独自の発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテクノロジーへの貢献が認められる。 ・または、探究的な学習成果が学校教育の内容を超えた高い水準に達している。 | | |
| 発表 | 発表の明快性・展開力 | ・研究テーマ・成果等のポイントがよく整理されたわかりやすい発表(ポスター・口頭)ができ、質問に対しても適切な対応ができた。 | 5 | |
| | 今後の発展性 | ・研究水準や今後の課題についての自己評価が適切である。 ・研究の目的・成果が明確に伝えられ、研究の学問的・社会的意義をアピールする発表ができた。 (・英語での発表、対応も優れている) ・今後の進展によっては、国際的な活躍が期待される。 | | |
| 【5段階評価の基準(絶対評価)】 5:優れて達成している 4:やや優れて達成している 3:概ね達成している 2:やや達成が不十分 1:全く達成できていない | | | 20 | 【審査コメント】 発表者にフィードバックされます。厳しく、かつ、あたたかい教育的なコメントをお願いします。 |